【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【公表番号】特表2016-530578(P2016-530578A)
【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)
【年通号数】公開・登録公報2016-057
【出願番号】特願2016-543275(P2016-543275)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｃ　9/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　9/04
Ｇ０２Ｃ　13/00

【手続補正書】
【提出日】平成29年8月30日(2017.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一組の取付部材を含むフレームを有する一組の主眼鏡と、前記取付部材同士を連結するブリッジと、ユーザーの頭部に前記フレームを掛けるために前記取付部材の１つに各々枢着された第１のアーム及び第２のアームと、前記取付部材のうちの異なる１つのなかに各々取付けられた第１及び第２のレンズと、
前記主眼鏡に着脱可能に係合されうる一組の補助眼鏡と、
を具備し、
前記補助眼鏡は、
第１の補助レンズおよび第２の補助レンズと、該第１及び第２の補助レンズの各々は外面と、内面と、前記内外面間に延び拡がる周縁エッジとを含み、
前記第１及び第２の補助レンズを一緒に動作可能なように連結する補助ブリッジと、
前記第１及び第２の補助レンズの各々を規定し、前記内外面間に延び拡がる開口部と、該開口部は前記周縁エッジに始まり、それぞれの前記補助レンズのなかに延び拡がり、
前記補助レンズの各々の前記開口部に係合するように構成されたコネクタと、該コネクタは前記補助眼鏡を前記主眼鏡に着脱可能に係合し、
前記コネクタは第１のアーム及び第２のアームを有し、前記第１のアームと第２のアームとは互いに平行に離間して配置され、
前記第１及び第２のアーム間に延び出すボスと、前記ボスは前記開口部に対して相補的な形状である前記コネクタの部分を有しており、前記第１及び第２のアームの各々は外エッジに近接するベベル部を含み、前記ボスは前記外エッジに対して引っ込んでいることを特徴とする眼鏡装置。
【請求項２】
前記開口部は、一般的には円形状をなす第１の部位と一般的には台形状をなす第２の部位とを含む一般的なキイホール形状であり、
前記開口部の第２の部位は連関した前記補助レンズの周縁エッジから始まり、前記開口部の第１の部位は前記周縁エッジから離れた内方に配置されていることを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。

【請求項３】
前記コネクタが前記開口部に係合しているときに、前記第１のアームは前記補助レンズの外面に隣接するとともに概略平行に配置され、前記第２のアームは連関する前記補助レンズの内面に隣接するとともに概略平行に配置されていることを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項４】
前記ボスは、連関する前記補助レンズの前記内面と前記外面の間を横方向に延び出していることを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項５】
前記ボスは第１の部位および第２の部位を含み、前記第１の部位は横断面が一般的な円形であり、前記第２の部位は、横断面が一般的な台形であり、円形状の前記第１の部位の区域から外方に延び出していることを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項６】
前記コネクタは、互いに直角に配置された第１の脚および第２の脚を含み、前記第１及び第２のアームおよび前記ボスは前記コネクタの前記第１の脚を共有することを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項７】
前記第１及び第２の補助レンズの各々を規定するブリッジ開口部をさらに有し、
前記ブリッジ開口部は、それぞれの前記補助レンズの前記内面と外面との間に延び出し、最内周サイドエッジに沿う前記周縁エッジに始まり、前記周縁エッジから離れて前記レンズの各々のなかに延び拡がり、かつ、前記ブリッジ開口部は、第１の端部にコネクタ部を有し、第２の端部にコネクタ部を有し、これらの前記コネクタ部は前記ブリッジ開口部の１つに係合可能であることを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項８】
前記主眼鏡の前記第１及び第２のレンズの各々に規定される第１の穴と、該第１の穴の各々に係合する第１の磁石と、
前記コネクタ内に規定され、前記第２のアームの外面からボスの部分を通り抜けて少なくとも前記第１のアームの内面まで延び出す第２の穴と、
前記コネクタに設けられた第２の磁石と、をさらに有し、
前記第２の磁石は前記第２の穴に係合し、前記補助眼鏡を前記主眼鏡に近いところに持って来たときに、磁気吸引力により前記第１の磁石と前記第２の磁石とが引き付け合うことを特徴とする請求項１記載の眼鏡装置。
【請求項９】
一組の主眼鏡に選択的に係合するための一組の補助眼鏡であって、
前記一組の主眼鏡の第１のレンズに隣接して配置される第１のレンズ領域と、
前記一組の主眼鏡の第２のレンズに隣接して配置される第２のレンズ領域と、前記第１及び第２のレンズ領域の各々は、外面、内面、および前記内外面の間に延び出す周縁エッジを有し、
前記第１及び第２のレンズ領域の各々を規定する開口部と、該開口部は前記第１及び第２のレンズ領域の前記内面と外面との間に延び出し、各開口部は前記周縁エッジを起点として前記第１及び第２のレンズ領域のうちの１つの距離だけ延び出すことと、
前記第１及び第２のレンズ領域の各々の前記開口部に係合されたコネクタと、該コネクタは前記一組の補助眼鏡を前記一組の主眼鏡に着脱可能に係合され、各コネクタは第１のアームおよび第２のアームを有し、前記第１及び第２のアームは平行かつ互いに離間して配置されることと、
前記第１及び第２のアームの間に延び出すボスと、該ボスは前記開口部に対して相補的な形状であり、前記開口部に受け入れられることと、
を有することを特徴とする補助眼鏡。
【請求項１０】
前記第１及び第２のレンズ領域の各開口部はキイホール形状であり、各コネクタの前記

ボスは相補的なキイホール形状であることを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１１】
各コネクタの前記第１及び第２のアームの各々は、外エッジに近接するベベル部を含み、前記ボスは前記外エッジに対して引っ込んでいることを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１２】
各コネクタが関連する前記開口部に係合されるときに、前記コネクタの前記第１のアームは関連する前記第１または第２のレンズ領域の前記外面に隣接するところに概して平行に位置付けられ、前記第２のアームは前記レンズ領域の前記内面に隣接するところに概して平行に位置付けられることを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１３】
前記ボスは関連する前記第１及び第２の領域の前記内面と外面との間を横切るように延び出し、前記ボスは第１の領域および第２の領域を含み、前記第１の領域は横断面がほぼ円形であり、前記第２の領域は横断面がほぼ台形であり、前記第２の領域は前記第１の領域の円周の部分から外方へ延び出ていることを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１４】
前記コネクタの各々は互いにほぼ直交する向きにある第１の脚および第２の脚を含み、前記第１及び第２のアームおよび前記ボスは前記コネクタの前記第１の脚を共に有することを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１５】
前記コネクタの各々はそのなかに穴を規定し、前記穴は前記第２のアームの外面から前記ボスの部分を通り抜けて少なくとも前記第１のアームの内面まで延び出し、前記穴のなかに磁石が嵌め込まれていることを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１６】
前記ボスは、キイホール形状であり、円形領域および台形領域を含み、前記穴は前記円形領域内に規定されていることを特徴とする請求項１５記載の補助眼鏡。
【請求項１７】
前記第１及び第２のレンズ領域が一緒に動作可能なように連結する補助ブリッジをさらに有することを特徴とする請求項９記載の補助眼鏡。
【請求項１８】
一組の主眼鏡に一組の補助眼鏡を着脱可能に係合する方法において、
各補助レンズを規定する少なくとも１つの開口部を有する一組の補助眼鏡を準備し、前記開口部は、前記補助レンズの内面と外面の間に延び出し、かつ前記補助レンズの周縁エッジに始まり、前記補助レンズ内の内方に延び出していること、
互いに離間して平行に配置された第１及び第２のアームと、前記第１及び第２のアームの間に延び出し前記開口部と相補的であるボスと、を有するコネクタを準備し、
前記一組の補助レンズの１つを前記開口部の１つとスナップフィットさせ、
主眼鏡の一組のレンズのうちの１つのトップエッジを乗り越えて前記コネクタの前記第２のアームの傾斜した終端を引っ掛ける、ことを特徴とする方法。
【請求項１９】
前記一組の補助眼鏡を準備する工程はキイホール形状の開口部を規定するレンズを準備することを含み、前記コネクタを準備する工程はキイホール形状のボスを有するコネクタを準備することを含むことを特徴とする請求項１８記載の方法。
【請求項２０】
第１の磁石を前記コネクタに係合させ、
前記主眼鏡のレンズの１つに穴を規定し、
前記主眼鏡の前記穴のなかに第２の磁石を埋め込み、
前記コネクタと前記主眼鏡のレンズの穴とが揃うように前記補助眼鏡と主眼鏡を移動させ、
前記補助眼鏡と主眼鏡とが一緒になるように磁気的に引き付け合わせる、工程をさらに

有することを特徴とする請求項１９記載の方法。
【請求項２１】
前記一組の補助眼鏡を準備する工程は、前記第１及び第２の補助レンズの間にブリッジを固定する工程をさらに含むことを特徴とする請求項１８記載の方法。
【請求項２２】
前記ブリッジを固定する工程は、
前記補助レンズの各々の前記周縁エッジにブリッジ開口部を規定し、該ブリッジ開口部は連関する前記補助レンズの前記内面から前記外面まで延び拡がっており、
前記ブリッジ開口部の１つに前記ブリッジの各端部に設けられた相補的形状のボスをスナップフィットさせることを含む、ことを特徴とする請求項２１記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
図１を参照すれば、本発明の態様に従う眼鏡装置は一組の主眼鏡10および一組の補助眼鏡12を有する。主眼鏡10は一組のレンズ取付部材（符号なし）を有するフレーム14を含み、レンズ取付部材同士および第１及び第２のアーム20,22を連結するブリッジ24を含む。各アーム20,22は、レンズ取付部材の１つに回動可能に枢着され、ユーザーの頭部にフレーム14を掛けて用いられるようになっている。第１のレンズ16と第２のレンズ18は、レンズ取付部材に取り付けられている。必ずしもそうでなければならないというものではないが、第１及び第２のレンズ16,18は処方レンズ（プレスクリプションレンズ）であることが好ましい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
また、本発明の好ましい実施形態の記載および図示は一例として示す実施例であり、これらの厳密な詳細な図示や記述に本発明は限定されるものではない。
以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。
［１］一組の取付部材を含むフレームを有する一組の主眼鏡と、前記取付部材同士を連結するブリッジと、ユーザーの頭部に前記フレームを掛けるために各取付部材に枢着されたアームと、前記取付部材の１つのなかに各々取付けられた第１及び第２のレンズと、
前記主眼鏡に着脱可能に係合されうる一組の補助眼鏡と、
を具備し、
前記補助眼鏡は、
第１の補助レンズおよび第２の補助レンズと、該第１及び第２の補助レンズの各々は外面、内面、および前記内外面間に延び拡がる周縁エッジと、
前記第１及び第２の補助レンズを一緒に動作可能なように連結する補助ブリッジと、
前記第１及び第２の補助レンズの各々を規定し、前記内外面間に拡がる開口部と、該開口部は前記周縁エッジに始まり、それぞれの前記レンズのなかに延び拡がり、
前記補助レンズの各々の前記開口部に係合するように構成されたコネクタと、該コネクタは前記主眼鏡に着脱可能に係合することを特徴とする眼鏡装置。
［２］前記開口部は、一般的には円形状をなす第１の部位と一般的には台形状をなす第２の部位とを含む一般的なキイホール形状であることを特徴とする［１］記載の眼鏡装置。
［３］前記開口部の前記第２の部位は連関した前記補助レンズの周縁エッジから始まり

、前記第１の部位は前記周縁エッジから離れた内方に配置されていることを特徴とする［２］記載の眼鏡装置。
［４］前記コネクタの部分は、キイホール形状の前記開口部と相補的であり、形状が円形であり、前記開口部の前記第１の部位のなかに受け入れられる第１の部位を含み、形状が台形であり、前記開口部の前記第２の部位のなかに受け入れられる第２の部位を含むことを特徴とする［２］記載の眼鏡装置。
［５］前記コネクタ部材は第１のアームおよび第２のアームを有し、前記第１及び第２のアームは互いに離れて平行に配置され、前記第１及び第２のアームの間にボスが延び込み、前記ボスは前記開口部と相補的な形状である前記コネクタの部分を有することを特徴とする［１］記載の眼鏡装置。
［６］前記コネクタが前記開口部に係合しているときに、前記第１のアームは前記補助レンズの外面と隣接して一般に平行に配置され、前記第２のアームは連関する前記補助レンズの内面と隣接して一般に平行に配置されていることを特徴とする［５］記載の眼鏡装置。
［７］前記第１及び第２のアームの一方または両方のリップは、前記ボスの外面から離れる横方向の外方に延び出し、前記第１及び第２のアームの各１つの外エッジで終わり、前記コネクタが連関する前記補助レンズに係合されているときに、前記リップは前記補助レンズの内面および外面の一方または他方に隣接して配置されることを特徴とする［６］記載の眼鏡装置。
［８］前記ボスは、連関する前記補助レンズの前記内面と前記外面の間を横方向に延び出していることを特徴とする［５］記載の眼鏡装置。
［９］前記ボスは第１の部位および第２の部位を含み、前記第１の部位は横断面が一般的な円形であり、前記第２の部位は、横断面が一般的な台形であり、円形状の前記第１の部位の区域から外方に延び出していることを特徴とする［５］記載の眼鏡装置。
［１０］前記第１及び第２のアームの各々は外エッジに近接したベベルを含み、前記ボスは前記ベベルに対して凹んでいることを特徴とする［５］記載の眼鏡装置。
［１１］前記第１及び第２のアームの各々には開口部がないことを特徴とする［４］記載の眼鏡装置。
［１２］前記コネクタは、前記開口部のなかにスナップフィットすることを特徴とする［１］記載の眼鏡装置。
［１３］前記コネクタは、互いに直角に配置された第１の脚および第２の脚を含み、前記第１及び第２のアームおよび前記ボスは前記コネクタの前記第１の脚を共有することを特徴とする［４］記載の眼鏡装置。
［１４］前記第２の脚は、前記第１のアームの外面に近接するところから前記第２のアームの外面を越えて離れたところまで延び出し、前記第２の脚は前記第２のアームから離れた終端を有し、前記終端は前記第２の脚の残余に対して角度が付いていることを特徴とする［１３］記載の眼鏡装置。
［１５］前記第１及び第２の補助レンズの各々を規定するブリッジ開口部をさらに有し、
前記ブリッジ開口部は、それぞれの前記補助レンズの前記内面と外面との間に延び出し、最内周サイドエッジに沿う前記周縁エッジに始まり、前記周縁エッジから離れて前記レンズの各々のなかに延び拡がり、かつ、前記ブリッジ開口部は、第１の端部にコネクタ部を有し、第２の端部にコネクタ部を有し、これらの前記コネクタ部は前記ブリッジ開口部の１つに係合可能であることを特徴とする［１］記載の眼鏡装置。
［１６］前記コネクタ部の各々は、連関する前記ブリッジ開口部と補い合う凹みボスを含むことを特徴とする［１５］記載の眼鏡装置。
［１７］前記ブリッジ開口部および前記ブリッジボスの各々は、第１の一般円形部と第２の台形部を含むキイホール形状であることを特徴とする［１６］記載の眼鏡装置。
［１８］前記主眼鏡の前記第１及び第２のレンズの各々を規定する第１の穴と、前記第２の穴に係合する第１の磁石と、

前記コネクタに設けられた第２の磁石と、をさらに有し、
前記補助眼鏡を前記主眼鏡に近いところに持って来たときに、磁気吸引力により前記第１の磁石と前記第２の磁石とが引き付け合うことを特徴とする［４］記載の眼鏡装置。
［１９］前記コネクタに規定された第２の穴をさらに有し、該第２の穴は、前記第２のアームの外面から前記ボスの部分を通り抜けて少なくとも前記第１のアームの内面まで延び出し、前記第２の磁石が前記第２の穴に係合していることを特徴とする［１８］記載の眼鏡装置。
［２０］前記第２の穴は、前記ボスの円形部に規定されることを特徴とする［１９］記載の眼鏡装置。
［２１］一組の主眼鏡に一組の補助眼鏡を着脱可能に係合する方法において、
各補助レンズを規定する少なくとも１つの開口部を有する一組の補助眼鏡を準備し、前記開口部は、前記補助レンズの内面と外面の間に延び出し、かつ前記補助レンズの周縁エッジに始まり、前記補助レンズ内の内方に延び出していること、
互いに離間して平行に配置された第１及び第２のアームと、前記第１及び第２のアームの間に延び出し前記開口部と相補的であるボスと、を有するコネクタを準備し、
前記一組の補助レンズの１つを前記開口部の１つとスナップフィットさせ、
主眼鏡の一組のレンズのうちの１つのトップエッジを乗り越えて前記コネクタの前記第２のアームの傾斜した終端を引っ掛ける、ことを特徴とする方法。
［２２］前記一組の補助眼鏡を準備する工程はキイホール形状の開口部を規定するレンズを準備することを含み、前記コネクタを準備する工程はキイホール形状のボスを有するコネクタを準備することを含むことを特徴とする［２１］記載の方法。
［２３］第１の磁石を前記コネクタに係合させ、
前記主眼鏡のレンズの１つに穴を規定し、
前記主眼鏡の前記穴のなかに第２の磁石を埋め込み、
前記コネクタと前記主眼鏡のレンズの穴とが揃うように前記補助眼鏡と主眼鏡を移動させ、
前記補助眼鏡と主眼鏡とが一緒になるように磁気的に引き付け合わせる、工程をさらに有することを特徴とする［２１］記載の方法。
［２４］前記一組の補助眼鏡を準備する工程は、前記第１及び第２の補助レンズの間にブリッジを固定する工程をさらに含むことを特徴とする［２１］記載の方法。
［２５］前記ブリッジを固定する工程は、
前記補助レンズの各々の前記周縁エッジにブリッジ開口部を規定し、該ブリッジ開口部は連関する前記補助レンズの前記内面から前記外面まで延び拡がっており、
前記ブリッジ開口部の１つに前記ブリッジの各端部に設けられた相補的形状のボスをスナップフィットさせることを含む、ことを特徴とする［２４］記載の方法。